

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.06

平成26年8月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 **日本赤十字社** 那須赤十字病院
Japanese Red Cross Society



は、あなたの力を待っている

QIN!
AKB48

診療科紹介

形成外科を紹介します

登録医紹介

大野医院

看護師紹介

集中ケア認定看護師

部門紹介

薬剤部

**マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース**

イベント報告

赤十字ふれあいデー

新任医師紹介

レシピ紹介

豆乳冷めん

赤十字を知ってほしい

未知と見える世界がある
AKB48

地域の皆様のよりよい生活、 QOLをサポートしていきます！

診療科紹介



形成外科スタッフ

当院の形成外科について

形成外科部長 谷裕美子

この4月より形成外科は常勤医師3人（谷裕美子、木内智喜、鈴木彩馨）、と慶應義塾大学、獨協医科大学からの非常勤医師という体制となりました。

形成外科の治療対象としては外傷・顔面骨折・熱傷・腫瘍（良性腫瘍、悪性腫瘍）切除後の再建・先天異常・美容の4つの柱があるといわれます。

外傷においては、当院は救命救急センターを有することより、外傷による軟部組織損傷、顔面骨折ややけどの症例も多いと考えられ、当科の果たす役割も多いと感じています。また、一般外来では、腫瘍の相談、難治性の潰瘍（熱傷・褥瘡・下腿潰瘍）の治療が多いと感じます。特に難治性の潰瘍は、栄養状態や、内科的疾患、自宅での生活状況や、自宅での処置が治療に大きくかわっていますので、それぞれ患者さんの背景を把握し、必要に応じて他科の先生方やスタッフの方々、訪問診療や、訪問看護などとも協力し、情報共有をしながら診療にあたっていききたいと考えております。

乳房再建に関しては、この6月にエキスパンダー、インプラント^{※2}に関する施設認定も取得しました。再建の選択肢に関しても多数ありますので気軽にご相談下さい。

その他、眼瞼下垂、睫毛内反などの目の周りの手術や、リンパ浮腫、ケロイド・瘢痕・傷痕の相談、巻き爪や陥入爪（かんにゅうそう）、多汗症に対するボトックス治療も形成外科で扱っておりますので、ご相談いただければと思います。

今後の目標

形成外科は、他の診療科とともに診療にあたることも多い科でもあります。他科の先生方や医療スタッフとコミュニケーションを密にはかり、当院のような総合病院において形成外科に求められる役割を果たしていきたいと思えます。また、外来においては、ささいなことでも相談しやすい雰囲気大切に診療にあたりたいと思えます。

診療に対するご意見等ありましたらできるだけ吸収し柔軟に対応していきたいと考えております。これまでと同様、地域のお役にたてるよう励んでいきたいと思えますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

- ※1 エキスパンダー：組織拡張器。乳房再建に際して皮膚を拡張する為に使用する手術材料。
- ※2 インプラント：人工物での乳房再建に用いる医療用シリコンを原材料とした医療材料。
- ※3 ボトックス治療：ボツリヌス菌がつくる天然たんぱく質を有効成分とする薬をワキの下に注射する治療。



褥瘡（床ずれ）のある患者さんを回診



集中ケア認定看護師 福西由貴子



集中治療室



カンファレンス実施の様子 患者様の状態について話し合っています。



新人教育の様子 練習用の人形を使って呼吸音を聞いています。

重症の患者様の早期回復をお手伝いしています

集中ケア認定看護師 福西 由貴子

集中ケア認定看護師とは

はじめまして。集中ケア認定看護師の福西と申します。皆さん、認定看護師をご存じですか？認定看護師とは「日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいう」と規定されています。現在21分野の認定領域があり、私はその中の「集中ケア」という分野で認定を頂いております。

重症な患者様の早期回復のために

日本看護協会では、集中ケア認定看護師は①生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防、②廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施を行うとあります。

わかりやすく説明しますと、重症な患者様は、いつ、どのように状態が変わっていくか予測不可能な事が多いです。そのような患者様の様々な症状や、検査結果、血圧などを基に分析を行い、さらに重症化しないように看護ケアを行います。認定看護師が行う看護ケアとは、薬剤を使用し循環動態を安定させる、体位を整え呼吸の安定をはかる、また清拭や口腔ケアなどの清潔に対する援助など多岐にわたります。また高度医

療機器に関する知識、技術も持ち、患者様に装着されている、様々な医療機器を管理、操作し患者様の治療が安全に行われるようにします。

他にも重症な患者様は病態により、安静を余儀なくされることがあります。そのような患者様でも、可能な限り身体を動かし、残された機能が衰えないように、早期に入していき、回復されたときでできる限り以前の状態に近づけるように援助していきます。

みんなと一緒に勉強していきます

その他の活動として、院内では新人看護師や看護スタッフに対してフィジカルアセスメント、急変時の対応などの講義を行ったり、人工呼吸器サポートチームの一員として人工呼吸器を安全に使用するための講習会などを行っています。院外では地域の看護師向けにフィジカルアセスメントの講義や急変時の対応などの講義を行っています。今後も院内外で様々な活動を行い、患者様の回復のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

※フィジカルアセスメント

問診、打診、視診、解診などを通して実際に患者の身体に触れながら、症状の把握や異常の早期発見を行うこと。



医薬品情報管理室スタッフ



抗癌剤調剤スタッフ



病棟薬剤課スタッフ



調剤室スタッフ

CDTM(共同薬物治療管理)を目指して



薬剤部部长 中丸 朗

「超急性期医療」から「がん化学療法」へ
「緩和医療」の広い範囲において薬物療法を支援します。チーム医療における薬剤師は患者様の安全性を確保する為に、最新の医薬品情報収集やガイドラインを基に患者様の基本データを加味したテーラーメイド薬物治療を提案します。日々のカンファレンス参加や回診に同行する事で医師、医療従事者間で診療計画を共有し、最適な薬物治療を提案する事でファーマシューティカル・ケア、CDTM(共同薬物治療管理)へ繋がります。

CDTM(共同薬物治療管理)

CDTMは主治医と薬剤師の間で交された、共同薬物治療であり、プロトコルの定義と薬剤師が患者の評価を実施するために、治療に関連したラボ検査を提案したり、薬の処方提案や選択をしたり、薬物療法の開始、モニタリング、継続調整したりするものであります。

故に当院のCDTM(共同薬物治療管理)は患者様へ安全、安心、適切な薬物治療が出来るよう一定の状況の下で薬剤師が薬物治療プロトコルを作成します。

代表的なものは「がん化学療法のレジメン」「指定抗がん剤」におけるクリニカルパスがあります。

レジメンは文献やEBMを基に患者の腎機能、肝機能を考慮した最適な薬物治療を定義します。他のクリニカルパスにおいても、薬剤師が介在しCDTMとして薬物治療、検査オーダー、薬剤管理指導を組み込んでいます。CDTM(共同薬物治療管理)の理解は癌化学療法や慢性疾患においてはされていますが急性期治療やパスの定義が不確実な治療においても努力すべきだと思います。今後は全ての臨床の場においてCDTM(共同薬物治療管理)が実践できるように医師への随行、専従配置をしていきたいと考えます。

ファーマシューティカル・ケア(薬学的管理)

薬剤師の病棟専従化を図りファーマシューティカル・ケアを実践しております。ファーマシューティカルケアとは患者のQOL(生活の質)に影響を与える総合的症状を軽減するために、薬物治療を責任持って提供することであり、現在、病棟12看護単位において入院された患者さんの持参薬の確認と処方設計、薬物使用歴、副作用歴、アレルギー歴等を考慮し、薬物血中濃度解析をはじめとした治療モニタリングと処方提案を通じて、医師と治療計画を共有し適正な薬物療法を提案しています。又患者さんの健康とQOLの向上につながる臨床薬剤業務を徹底しております。院内にはチーム医療を担う各種チーム、ICT(院内感染)、NST(経腸栄養)、SCT(医療安全)などがあり、構成員として薬剤師の職能を発揮しております。

- 薬剤部長 中丸 朗
- 薬品管理課長 佐藤 学
- 調剤課長 金子 和生
- 病棟薬剤課長 金森 麻土香

4月 津久井大田原市長がドクターカーへ乗車

救命率の向上の確認 /4月10日(木)

当院の※ドクターカーは、運用開始から5年目を迎え実績も積んだことから平成26年3月に新車両を配備したところ、かねてからドクターカーの見学を希望していた津久井大田原市長が試乗されました。

当院スタッフの運転のもと、第一救急部長の長谷川医師が同乗し、15分ほど走行しました。

那須赤十字病院は、更なる救命率の向上を目指します。



助手席に乗り込む津久井大田原市長

5月 ふれあい看護体験

51名の高校生が参加 /5月17日(土)

毎年実施している看護体験が、本年度は栃木県北の高校生51名の参加となり実施されました。病棟での看護体験、当院在職中の先輩看護師の体験談と盛りだくさんの内容となりました。病院での体験や経験が、学生たちの将来の夢に繋がってくれることを期待しております。



患者さんのお世話をする高校生

6月 野外救護訓練

新人職員55名参加 /6月4日(水)

蛇尾川緑地公園にて日本赤十字社栃木県支部、那須赤十字病院救護班参加の下、総勢74名で実施されました。この訓練の目的は新人職員への救護への意識付けが目的で毎年実施されています。パイプ TENT や、簡易ベットの組み立て、基礎行動、ストレッチャーの使用と、朝から夕方まで訓練に勤しみました。



担架の使い方を習得中

託児所における手洗い教室

那須赤十字病院託児所「ポケット」 /6月21日(土)

託児所の子供たちに、手洗いについてもっと知ってもらおうと、感染管理認定看護師による手洗い教室が開かれました。子供たちは、紙芝居で勉強したあと、DVDの手洗いソングに合わせて実際にチャレンジ!

がんばったご褒美に手作りのメダルが授与されました。



看護師が見守るなか、手洗いする子供達

那須赤十字病院後援会

役員会・総会・懇親会 /6月26日(木)

勝田屋記念会館にて17時から後援会総会が開催されました。70名の会員の方々にご参加頂き、その後の懇親会も大盛況でした。後援会会長から会員の皆様に会員章(襟章)を作成し、配布した旨の報告がありました。

昨年度同様、新規会員募集の為に広報活動に力を注ぐ所存です。



那須赤十字病院後援会総会

(※)ドクターカー 医師・看護師が同乗し、搬送途上へ出動する車両。

「赤十字ふれあいデー」を開催しました！

社会課 小竹 諒



管理栄養士による栄養相談



高齢者疑似体験

平成26年5月17日(土)、当院にて、「赤十字ふれあいデー」を開催しました。
 このイベントは赤十字の事業や活動を身近に知っていただくことを目的とし、スタッフ一丸となって開催しました。
 当日は救急法や幼児安全法、高齢者疑似体験などの体験コーナーや血圧測定、骨密度測定、栄養相談などのコーナーを設けました。
 「赤十字紹介コーナー」では、赤十字に関するクイズを実施し、楽しみながら赤十字を知っていただくことができました。また、新企画として、お子様対象の「救護服・ナース服試着体験コーナー」を設け、記念撮影を行うなど、大盛況となりました。
 高校生に看護師の仕事を学んでもらうイベントである、「看護ふれあい体験」も同時開催したこともあり、地元の高校生も多く来場していました。
 当院は、今後も地域の皆さんに、赤十字の事業や活動を発信していきます。

新任医師紹介

「わたしたちが皆さんの健康をサポートします！」
 新しく那須赤十字病院で働く先生を紹介いたします。



整形外科 高田 裕平



耳鼻咽喉科 渡部 高久



産婦人科 三木 史恵



救急集中治療部 第二救急集中治療部長
木多 秀彰

7月から勤務

5月から勤務

レシピ紹介

材料(2人分) ————— ●
 日本そば----- 乾150g
 きゅうり----- 1本(100g)
 ミニトマト----- 6個(60g)
 a 豆乳(無調整)----- 1・1/2カップ
 めんつゆ(ストレート)--- 1/2カップ
 すり白ごま----- 大さじ2
 小ねぎ(小口切り)----- 5本(25g)
 練りわさび----- 小さじ1

作り方 ————— ●
 1. きゅうりはせん切りにし、トマトは半分
 に切る。
 2. たっぶりの熱湯でそばをゆで、流水で洗
 い、氷水でしめる。しっかりと水けをきる。
 3. aとすりごまを合わせて器に注ぎ、2を
 盛って1と小ねぎをのせ、わさびを添える。



栄養と料理 7月号より

韓国豆乳冷めんのアレンジ。
 とろりとして、汁は多くても低塩です。
 日本そば、そうめん、うどんにも合いま
 す。食欲のないときにおすすめ。

豆 乳冷めん

減塩爽やか麺!!

献血に行こう!

「血液を確実にお届けするために」

～あなたの善意が患者さんの尊い生命を救います～

日 時：8月29日(金) 10:00～16:00 (12時前後から1時間程度休憩をとらせていただきます)

場 所：那須赤十字病院

問合せ：那須赤十字病院 社会課 ☎0287-23-1122(代)

400ml献血のご協力をお願いします。

インターンシップのご案内

平成27年4月に就職する方を対象にインターンシップを行っています。

看 護 師…8月20日、8月27日、9月10日
(いずれも水曜日)

放射線技師…8月26日(火) ※日程が合わない場合はご相談ください。

申込・問合せ：那須赤十字病院 人事課

☎0287-23-9946(直通)

いきいき介護リハビリ教室

2014年11月1日(土) 10:00～11:00

「転倒しないために」

参加費無料、申し込みも不要です。

問合せ：那須赤十字病院 リハビリテーション

編 集 後 記

本格的な夏になりました。厳しい暑さとともに海水浴や花火大会、夏祭りなど心躍るイベントの訪れでもあります。

夏祭りと言えば、当院ではほぼ毎年、与まつりの与一踊りの列に加わっています。屋台で飲み食いするだけでなく、祭り自体に参加して熱気を浴びるのはまた格別です。皆様もよき夏をお過ごしください。

施設課 関 風貴

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に赤十字ハローキティクリアファイルをプレゼントいたします。

氏名、住所、年齢、ご意見、ご感想を明記のうえ、ご応募ください。

●応募先

〒324-8686 大田原市中田原1081-4
那須赤十字病院 総務課 広報係

●応募締切り 2014年10月1日(水)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



押し花はがき体験

ボランティアさん(コスモスの会)による押し花教室を開催しています。季節のきれいな花を使用して、どなたでも簡単に作ることができます。お気軽にお立ち寄りください。



日 時：第2・第4水曜日 10:00～14:00

場 所：2階もっとクロスルーム(ローソンとなり)

費 用：無料 申 込：不要



那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくりたい。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につとめます。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.6

発行日 2014年8月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷